

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【公表番号】特表2007-515996(P2007-515996A)
 【公表日】平成19年6月21日(2007.6.21)
 【年通号数】公開・登録公報2007-023
 【出願番号】特願2006-518342(P2006-518342)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 5/20 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/20

【手続補正書】
 【提出日】平成19年7月2日(2007.7.2)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

ハウジング内に位置するシリンジの一端に在るニードルから一回分の投与量の液体を排出するための噴射装置において、前記ハウジングの一端に在る起動用付勢部材の解放時に前記シリンジは、前記ニードルがハウジングに収容される第一の位置から、前記ニードルが前記ハウジングの他端から突出する第二の位置までプランジャによって移動可能になっており、該プランジャは、前記シリンジのコンテナの他端内に位置決めされる自由端を有すると共に、前記シリンジ・コンテナの前記他端の拡大ヘッドに抗して載置される周囲の把持用可撓性リングを担持しており、それにより、前記起動用付勢部材の付勢作用下で前記プランジャの第一の移動は摩擦力を前記リングに伝達し、その結果、前記シリンジ・コンテナは前記第一の位置から前記第二の位置まで前記リングによって移動され、前記シリンジ・コンテナがさらに移動するのを停止することによって、前記プランジャと前記リングとの間における摩擦つかみが部分的に解放され、従って、第二の移動によって、前記プランジャを前記シリンジ・コンテナ内に移動させて、プラグに接触させると共に該プラグに作用して前記シリンジ内の液体を圧縮し、前記液体を前記シリンジの前記ニードルに通して排出するようにした、噴射装置。

【請求項2】

圧力維持用付勢部材が前記プランジャのヘッドと前記リングとの間に位置決めされており、前記プランジャの前記第二の移動のときに、前記圧力維持用付勢部材は前記シリンジ・コンテナの前記ヘッドへの圧力を前記リングによって維持することができる請求項1に記載の噴射装置。

【請求項3】

前記起動用付勢部材が解放されるまで前記シリンジ・ハウジングと前記シリンジ・コンテナの他端との間で作用して前記シリンジを前記ハウジング内で後退位置に保持する帰還用付勢部材を含む請求項1または2に記載の噴射装置。

【請求項4】

前記ハウジング内に設けられた一つまたは複数の前記付勢部材がコイルバネの形態をなしている請求項1から3のいずれか一項に記載の噴射装置。